

トマ喰い虫

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502

トマ喰い虫社

☎03(498)6095 044(63)5101

FAX.044(63)9907

NO.53
90.3.20
定価 100円

月刊反トマホーク通信改題



"Ah! New Caledonia — the charm of the natives, the palm trees, the sun and the sea."

「ああ！ニューカレドニア——愛嬌のいい原住民たち、椰子の木、太陽そして海！」
（「ル・モンド」より。10ページに関連記事）

佐世保にカールビンソン
ニュージーランド国民党
核艦船禁止を表明
オークランド非核条例を
米連邦政府が告訴

舞鶴ヘリコプター基地
建設を止めよう！

[連載] ニック・マクレラン
の太平洋レポート②

[連載] アメリカ西海岸の旅

[発行] トマホークの配備を許すな！全国運動

●維持会員（月間会費）

団体 1口 2000円

個人 1口 1000円

●参加会員（月間会費）

団体 1口 1000円

個人 1口 500円

●通信会員

年間 1口

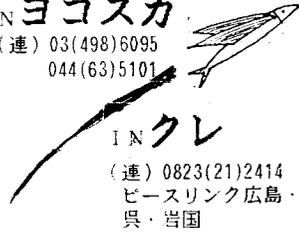
2000円

あなたも仲間にも！（会費は本誌購読料を含みます）

海の軍備撤廃を！
国際行動

4.22(日)

IN ヨコスカ
(連) 03(498)6095
044(63)5101



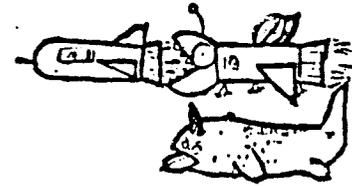
ージ参照)。しかし、一つだけ、時計が止まってしまっているところがある。それが、日本と北西太平洋ではないでしょうか。朝鮮半島では、今年もチーム・スピリット演習が行われています。日本はあいつも変わらず、その最前線基地の一つです(カールビンソンの佐世保寄港！)。

●二隻のトマホーク艦(ヒューイット、モービル・ベイ)とミッドウエーにかわるさらに大型の空母インディペンデンスの横須賀母港化。これらを止めることは、私たちが世界の平和と軍縮と民主主義の実現の流れに加わるために、どうしても越えなければならないハードルです。

●四月二十二日曜日、都合をあけておいて下さい。ただ一つの地球、ただ一つの太平洋を生命のためにつくりかえることをめざして、春風につけて街にでましよう！(田巻一彦)

インディペンデンスの母港を止めよう！

4.22 春風によって
街へ――

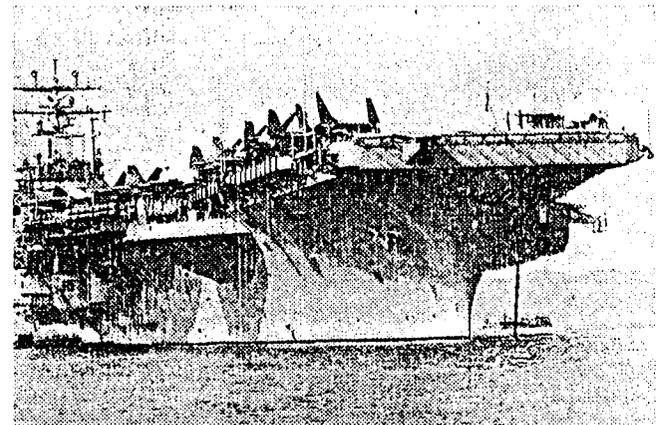


トマ喰い虫とは、神奈川県横須賀市の久里浜中学の生徒が考え出したトマホークを食べてしまう生き物です。今、世界中で繁殖している益虫なのだ！

●東京では、いつもより早い桜の花が満開に咲き誇っています。北の国ではどんなふうにも春の気配が広がっているのでしょうか。何となく心ときめく季節ですね(スギ花粉症で苦しむ皆さんごめんさい)。

●時代の歯車は着々と前に進んでいます。太平洋でも！ ニュージールランドからのニュースはそのことを私たちに予感させます(3ペ

原子力空母カールビンソン



いかりをおろしたカール・ビンソン。前部の飛行甲板にはA7Eコルセアなど攻撃機が見える

佐世保に入港

かかる問題で大きい。でも民主主義の問題としてとらえれば、カールビンソンの入港も根は同じ。JRの不当労働行為も、非核三原則の問題も約束されていたものがひとつ一つ破られ、積み上げられていったんです(三月四日「朝日」西日本版)と語るJR労働者が抗議の人波の中にいたことを、政治家や軍人たちは知っているだろうか。

あるいは「チェルノブイリ」がこの町で再現実されるかもしれないと不安を抱いて初めてデモに加わった市民の心を、彼らはちょっとでも考えたことがあるのだろうか。

カールビンソンは六日には佐世保をたった。朝鮮の平和と統一に敵対する「チーム・スピリット」演習に参加するための。

こんなでたらめが、いつまでも許されると思っちゃいけないよ。ね！(9ページに関連スクラップあり：編集部)。

ニュージールランド

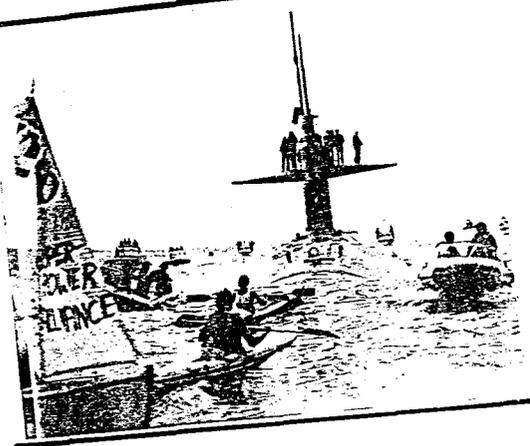
野党国民党

核艦船禁止を表明

非核政策を 一八〇度転換

ニュージールランドからビッグ・ニュースがとどいた。三月八日、野党・国民党のボルジャー党首は「国民党政権のもとでも、ニュージールランドへの核兵器持ち込みを許さないことを保証する」と発表した。

ニュージールランドの労働党政権は、一九八七年に国民の圧倒的支持で成立した「非核法」に従って、「首相が核兵器を搭載していないと確信した場合に限って、軍艦の入港を許可する」という政策をとってきた。これに対して、国民党は「核の存在を肯定も否定もしない」アメリカの政策がある以上、「同盟国がわが国の政策を尊重することを信じるほかはない」として、日本政府と同じようなやり方で「非核法」を骨抜きにしようとしてきた。



それを、現政権と同じ厳密な非核政策へと一八〇度転換させたのである。

当然国民党内での反対は強く、マッキナン副党首が「これでは同盟国を納得させることは出来ない」と、国防問題スポークスマンを辞任するという一幕もあった。

二大政党のいずれもが同じ非核政策をとるといふ例は世界でも初めてである。最近の世論調査では八〇%以上の国民が現在の非核政策を支持している。秋の総選挙を前に、国民党も根強い国民世論に従うほかなかったのだ。

歴史的転換を作り出したニュージールランド国民と平和運動の人々に拍手を送りたい。次は日本の番だ。

米国発

「非核条例は安全保障を阻害」

連邦政府、オークランド市を告訴

「非核条例」は国家安全保障を阻害」としてアメリカ連邦政府は昨年、サンフランシスコ湾岸のオークランド市を相手どり「非核条例」の効力停止を求める裁判を起こした。この史上に類のない地方自治への攻撃に対して、地元はもとより全米の平和・環境保護グループが反撃のたたかいは始めている。平和団体「生存のための動員(Mobilization for Survival)」の機関紙「THE MOBILIZER」(九〇秋号)から「このあらしを伝える記事を紹介する(表題は編集部)」。本紙では今後も事態の推移をレポートしていきたい。



Photo from Nuclear Free America.

一九八八年十一月八日、有権者の五七パーセントの賛成を得て「オークランド非核条例」は成立した。ロッキード社、AT&T社、ウエスチングハウス社など市外の企業や、当のオークランド市長、市議会の多数派からの反対の中で、オークランドは米国内に一六〇以上、世界で四〇〇〇を超える非核自治体の仲間入りをした。

進的な内容である。そこには有害な放射性物質の運搬の規制、市の核兵器製造企業への投資やこれら企業からの物品購入の制限、そして、市内における核兵器研究の禁止などが明記されている。

今年(八九年)五月、右翼系の「太平洋法律財団(P.L.F.)」を代理人として、数人の個人といくつかの企業がオークランド市に対し訴訟を起こした。その主張は非核条例によ

兵器開発研究所の一つであるローレンス・リバモア研究所のほか湾岸の五つの海軍基地からオークランド市内を通って放射性物質が輸送されていることを認めている。運輸省とオークランド市によって認可された標準的な輸送ルートの一つは「インターステイト880号線」のうち、八九年十月十七日の地震で崩壊し、多くの死者と負傷者を出した区間を含んでいる。

十二月二十一日、条例制定運動を組織した市民グループ「非核オークランド(NFO)」と条例の中心的な起草者の一人であるステイプ・ブルーム氏が、連邦裁判所に対してこれらの訴訟への参加を申し立てた。司法省とP.L.F.は彼らの訴訟参加に反対していないが、参加人たちの関与を厳しく制限することを狙っている。この記事を書いている段階では、裁判所の決定はまだ出ていない。

そればかりか、連邦政府は審判を待たずに非核条例を葬り去るために、即決裁判の申し立てを行った。この申し立てに関する審議は二月末にも行われるかもしれない。(その後、裁判所は三月二十二日に予審を行うことを決めた(訳者)。

もし、裁判所がNFOとブルーム氏に完全な訴訟当事者としての地位を与えれば、彼らはオークランド非核条例を法的に弁護する草

の根の訴訟当事者として、和解交渉を含むすべての訴訟過程に参加することになるだろう。彼らは、非核条例を全力を上げて守る決意だ。彼らはオークランド市が住民の健康と安全を守るために地方自治体の伝統的権限を行使することは正当だ、と主張している。さらに、核兵器はオークランドの有権者たちが正当にも反対を宣言したように、道義的にも法的にも容認することのできない国策のための道具である、と信じている。

NFOとブルーム氏の代理人は、平和・環境保護運動家の代理人として活動する非営利・公益組織の一つである「西部諸州法律財団」と市民の権利と雇用差別へのとりくみで知られるオークランドの「セイバースタイン&セリグマン事務所」である。これらの組織はサンフランシスコ湾への戦艦ミズーリと随伴艦の母港化阻止に成功したキャンペーンで法律部門を担当した。

「非核オークランド」は訴訟参加のための資金を必要としている。寄付金の送り先は「西部諸州法律財団非核オークランド防衛基金(Nuclear Free Oakland Defense Fund, Western States Legal Foundation)」(14 40 Broadway, Suite 420, Oakland, CA 94612)。寄附金は税控除の対象となる。

「生存のための動員」は、「核政策に関す

ってビジネスが被害を受け、「国家安全保障」が危険にさらされるというものだ。原告の中にはスターウォーズの研究をしている物理学者やIBMのタイプライターを販売するオフィス機器会社が含まれている。

さらに九月には連邦政府自らが訴訟を起こした。原告はエネルギー省と海軍。司法省が代理人となっている。連邦政府の訴状は、政府の公文書としては初めて、オークランド市内および周辺で行われている核兵器関連活動を明らかにしている。

●妨害

司法省は、非核条例は「核兵器、核エネルギーおよび放射性物質の運搬に関わる連邦政府の活動を妨げ」、米国エネルギー省がオークランド管理センターを通じておこなっている「カリフォルニアほか三十三州における核兵器の研究開発の監督・管理能力に重大な損害を与える」と主張している。また、訴状は、条例がオークランド市内および周辺の主要な海軍施設における放射性物質の関与する活動に悪影響を与え、海軍の「太平洋全域で活動する艦隊に対する補給、補修、維持管理能力」に深刻な打撃を与える、と主張している。

訴状の中で、連邦政府は、「二つの国立の核

る法律家委員会」と協力して多くの平和団体・法律団体連署による助言準備書面を法廷に提出して、このたたかいを支援したい。NFO (Coalition for Nuclear Free Oakland) の連絡先は、4042 Broadway, Oakland, CA 94611 (415)653-5027である。(訳 田巻一彦)

NOTE

- 「オークランド非核条例」より
- 第二節「目的」本条例は以下の手段によってオークランドを非核地帯とすることを目的とする。
- a 市内における核兵器の製造の禁止
 - b 核兵器および有害放射性物質の市内を通過する輸送の規制および住民への事前告知
 - c 市内における有害放射性物質の貯蔵および加工の禁止
 - d 核兵器産業に従事していることが判明している企業と市当局の契約およびこれら企業への市当局の投資の禁止

●オークランドの核関連施設

- △市内Vオークランド陸軍基地/海軍補給センター(NSC)
 - △周辺Vアラメダ海軍航空基地と空母など五隻の原子力艦の母港/トレジャー・アイランド海軍基地/ハンターズ・ポイント海軍造船所/コンコード海軍兵器廠/ローレンス・リバモア国立研究所。
- *これらはいずれも、国側が非核条例によって活動が阻害されるとした施設

●オークランド周辺の基地については、本紙連載の「アメリカ西海岸の旅Ⅱ、Ⅲ」(梅林宏道)を参照して下さい。

舞鶴は今…

対潜水艦ヘリコプター基地 建設を止めよう！

立川さき

トマホーク阻止！京都連絡会



京都府には日本海側唯一の海軍基地へ舞鶴Vが存在する。一九八九年一月二十五日、その舞鶴基地に對潜水艦ヘリコプター搭載の護衛艦「みねゆき」が配備された。さらに防衛庁は一九九一年までに同じく對潜ヘリ搭載護衛艦二隻の配備と、それにもなうヘリコプター支援基地を建設すると発表。すでに舞鶴市雁又地区(地図参照)の十五万㎡の敷地に對潜ヘリ七機を常駐させ、一九九三年度完成をめざすという概要が明らかにされ、九十年

度予算案ではヘリ基地建設のための調査費約三千万円が計上されている。日本をアメリカの不沈空母にすると言いつた中曽根政権の登場以降、旧四軍港・横須賀、佐世保、呉、そして日本海をほさんで極東ソ連軍基地と對峙する舞鶴基地の再編・強化が急速にすすめてきた。對潜ヘリ搭載艦の配

備と新たなヘリ基地の建設はアジア・北西太平洋でのアメリカの海洋戦略のもとで、舞鶴を對ソ海峡封鎖作戦、對潜水艦戦争の一大出撃拠点へと大きくつくりかえるものである。

舞鶴市は他の軍港市とともに敗戦後「平和日本の理想達成に寄与することを目的とする」「旧軍港市転換法(一九五〇年)」にもとづいて「軍都」から「平和産業港湾都市」への

転換の道を歩んできた。過去にも一度ヘリ基地建設計画がもちあがったが、当時の市議会は「ヘリ基地反対決議」(一九六六年)をあげ、計画を中止にち、つた。

しかし、市内唯一の企業である日立造船の衰退、過疎化等に悩む舞鶴市は、今回は町井市長が当初から「市の発展になるなら」とへ

や平然と「市民の総意のもとにヘリ基地を推進している」という態度にいたっては言語道断である。

そうしたなかで、本年三月六日、二隻目の對潜ヘリ搭載艦「はまゆき」が佐世保から転籍、配備され「みねゆき」と二隻で新たに第四二護衛隊を編成。舞鶴は八隻の護衛艦と八機の對潜ヘリで構成する「八・八艦隊」態勢を完成するに至った。その総仕上げが對潜ヘリ基地の建設であり、第三護衛隊群の旗艦「はるな」の舞鶴配備である。

私たちは三月六日、チーム・スピリット90で行動中の米空母カールビンソンとともに「はまゆき」が佐世保を出港、舞鶴に向かったとの情報を得て、「はまゆき」入港の三月八日、舞鶴基地への抗議申し入れを行った。舞鶴基地は最近になって休日ごとの基地見学案内をはじめただほか、新総監以降それまで一度も受け取らなかった申し入れ文を受け取り対応するようになった。必死に市民への浸透をはかろうとしているようだ。しかし、ヘリ基地については施設庁と市がすすめていることなので自分たちは知らない、関係ないと逃げ口上しかなかった。

その後三月十三日に舞鶴を訪れた際、雁又地区にまわってみると、永年放置されたまま

だった土地に大型重機がはいり整地作業(とみられる)が始まっていた。

舞鶴の人々は「日本海を平和の海に！子供たちに夢と希望を！」と訴える。私たちもま

た共に訴えよう。日本海を平和の海に！平和へのイニシヤティブを私たちから！舞鶴への對潜ヘリ基地建設を阻止しよう！

海上自衛隊舞鶴基地(施設)位置	
1 レーダー配置	12 舞鶴基地本部
2 乙種補給所	13 舞鶴基地本部
3 白旗火薬庫	14 舞鶴基地本部
4 白旗火薬庫	15 舞鶴基地本部
5 舞鶴基地本部	16 舞鶴基地本部
6 舞鶴基地本部	17 舞鶴基地本部
7 舞鶴基地本部	18 舞鶴基地本部
8 舞鶴基地本部	19 舞鶴基地本部
9 舞鶴基地本部	20 舞鶴基地本部
10 つつじ倉庫	
11 舞鶴基地本部	
21 ヘリ基地予定地	
22 舞鶴基地本部	

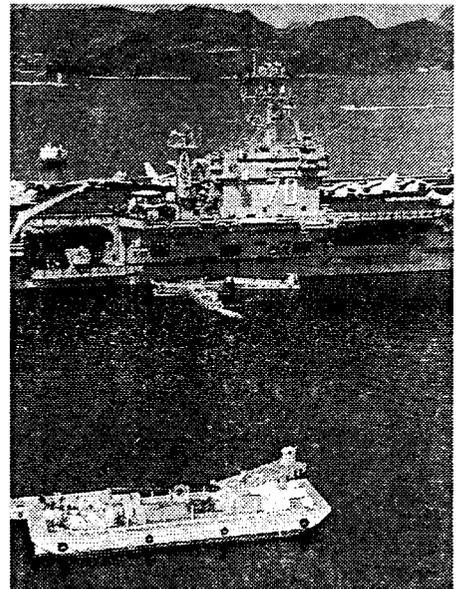
パンフレット
舞鶴は△ 對潜水艦ヘリコプター基地建設阻止のために
● 定価500円 ● 発行トマホーク阻止京都連絡会 (075-255-1261)

3月6日朝日新聞『時時刻刻』より

核疑惑艦 入港相次ぐ

米空母カールビンソン停泊中の佐世保

佐世保市の調べ
 によると、最近五年間の米艦船の入港回数には年間五十隻前後で、大きな変化はない。が、佐世保港で白米艦船の出入りを毎日監視している佐々木竹一・佐世保軍事問題研究会代表によると、昨年一年間の核疑惑艦が五隻だったのが、今年はすでに四隻目。最も多かった八六年の十隻を上回るペースだ。



物資の補給を受ける米空母カールビンソン＝4日午前、佐世保港で、朝日新聞社ヘリコプターから

今年4隻、異例のペース

代わりの核・非核両用ミサイル、トマホーク発射機を持つ駆逐艦、巡洋艦、核弾頭搭載の艦がある空母などが頻りに入港し始めた。昨年三月以来、駆逐艦、巡洋艦は延べ四隻、空母はミッドウェイが一度寄港したのに続き、今回のカールビンソンだ。それ以前はそれぞれ年に一回程度だったに比べると、異例のペースと言え、米軍の戦略に変化があったに違いない」と佐々木代表。

こうした変化に合わせ、米軍側の報道陣への対応がとくに柔

影ひそめた激しい反対

佐世保市によると、四日、地元記

「基地縮小は困るが、増強も望まない」。

革新陣営は、六四年の原子力潜水艦「ドラゴン」入港、六八運動と、反対集会の極「同

反核ホット ライン

24

だより

入港情報

- 90・2・21 3・20
- P級 (原子力潜水艦パーミット級)
- S級 (原子力潜水艦スタージョン級)
- L級 (原子力潜水艦ロサンゼルス級)
- (2・25) オマハ(L級) 午前10時 ホワイトビーチに入港 30分後に
- (2・28) ソルトレイクシティ(L級) 午後1時 ホワイトビーチに入港 30分後に
- (3・4) カールビンソン(ミニッツ級原子力空母) 午前10時 佐世保

- (3・6) カールビンソン(ミニッツ級) 午前10時 佐世保を出港
- (3・20) パファー(S級) 正午 横須賀に入港

*1990年3月20日現在各港への原子力艦の入港回数は、

横須賀	3回(うち原潜3回)
佐世保	1回(うち原潜0回)
ホワイトビーチ	6回(うち原潜6回)
計	10回(うち原潜9回)

ホワイトビーチの原潜入港について

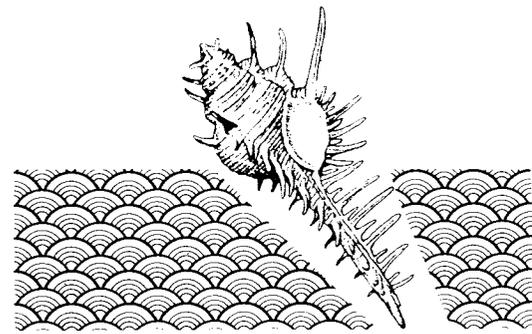
2月28日午後、ホワイトビーチに立て続け

「人道」や「急病人」も珍しいが、今回

ト90」を連想させる「運用上の理由」を入港目的に挙げるのは極めて珍しい、とのことである。

ロサンゼルス級の原潜は、一般的に8発のトマホークを搭載しているが、今回入港した2隻の原潜については、最低1発は核トマホークと思われる。

ホワイトビーチへの原潜入港は、本土復帰以来51回目、一日に2隻が入港するのは80年3月以来十年ぶりとなる。



原子力艦入港情報

テレホンサービス

ブッシュホンで、まず 井8301、そして連絡番号 968・1071、次に暗誦番号 1071

クロハ イレナイ

太平洋の島々をおおつ大國の影②

カナリーキーン (ニューカレドニア) 悲劇を乗り越え 前進する独立運動

ニック・マクレラン
(パシフィック・ニューズ、
ブレティン編集者・オーストラリア)

2月18日連続セミナー
「非核太平洋へ」での
発言から(文責編集部)

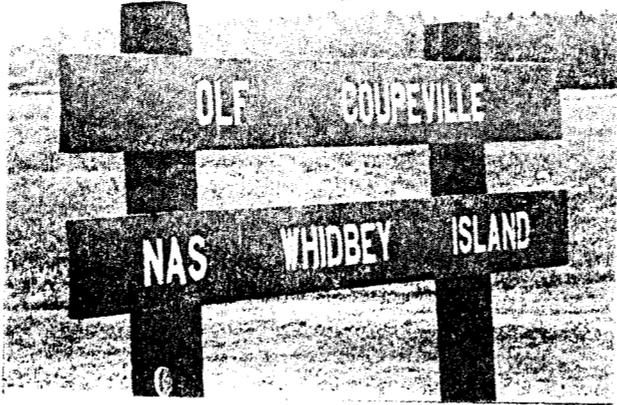
フランス領カナリーキーン(ニューカレドニア)ではFLNKS(カナク社会主義民族解放戦線)を推進体とする独立運動が継続されています。FLNKSは五つの政党といくつかの団体から構成されており、一九八四年に結成されました。ここでも独立運動は独立を達成した晩には、非核国家を建設し非同盟運動に加わることをめざしています。フランスはニューカレドニアに空軍基地、海軍基地、部隊の駐屯地など多くの軍事施設を持っています。独立運動はこの二年ほど非常に困難な状況に直面しています。一九八八年、FLNKSはフランス大統領選挙のボイコットを決めました。こんなに遠い国の大統領をなぜ自分たちが選ばなければならないのか、という理由からです。このボイコット運動の期間中にウベア島という小さな島で武力衝突が起きました。独立運動家の一団が警察署を占拠してカナリーの旗を揚げようとし、それを阻止した

警察隊に四人の死者ができました。フランスは数百人の部隊を導入して、独立運動の活動家十九人を虐殺しました。この後、独立運動の指導者たちは、フランス政府との間で、独立を決めるための投票を一九九八年に実施するという内容の「マティニオン合意」に署名しました。この合意ではフランスは十年間経済援助と農村部を中心にした職業訓練を行うことになっています。しかし、十年という期間はあまりに長すぎる上、経済援助はカナリーキーン住民をさらに深くフランスの経済体制に組み込んでしまうと強い異論があります。ウベアの虐殺の後遺症は、昨年、悲劇的な形であられました。独立運動の二人の中心の指導者、ジャン・マレー・チボウ氏(FLNKS代表)とイエウエニ・イエウエニ氏(同副代表)が同じウベアで、しかもFLNKSの活動家によって暗殺されたのです。

二人は十九人の虐殺の記念日に追悼集會に参加するためウベア島を訪れていました。二人を暗殺した活動家はウベア島出身で一年前の事件で父親を失っていました。父親は、人質の居場所を聞き出そうとするフランス兵による拷問で虐殺されたのです。十九人が虐殺され、多くの若者がパリの監獄におくられるという過酷な経験がこの暗殺の引き金になったのです。今、独立運動は「マティニオン合意」後の論争と分裂状態から、ゆつくりと統一を回復しつつあります。FLNKSの最大勢力である統一カレドニア党(UC)がフランスと結び付いて、経済援助の利権を得ているのではないかと批判がささやかれる中、昨年八月に開かれる予定だったFLNKSの会議は何度も延期されていました。しかし、ようやく今年一月二十八日に會議が開かれ、三月(13ページへ)

アメリカ西海岸の旅(Ⅳ) 基地と環境 その1

梅林宏道



今回の旅行のテーマの一つは、欧米の反核、反基地運動の分野で、最近年とともに重要な比重を占めつつある環境問題について、その現状を把握することであった。横須賀で準備が始まっていたNEPA(後述)裁判に備えるためにも、それは必要であった。

エベレットの NEPA訴訟

エベレットは、シアトルの北方約五〇キロメートルのところにあるポート・ガードナー湾に面する町である。大きく言えば、ピュー

ジェット湾と言うアメリカ海軍有数の拠点に位置している。バルブ工場が斜陽になっているこの町が、レーガンの戦略母港計画の中で原子力空母ニミッツを中心とする一三〇一五隻の軍艦の母港に指定された。(一九八二年)この母港計画に反対する市民運動は、アメリカのNEPA(国家環境政策法)に基づく裁判闘争を中心に進行した。日本を発つときから、アメリカの友人からエベレットに関してはマーク・ハウザーに会うように勧められていた。彼は最近までワシントンで、ある民主党議員の研究秘書の仕事

をしていた人物で、情報に通じ調査能力を持った運動家であった。彼は元気一杯であった。会うとすぐに本題に入って現状を話し始めた。というのも、彼の聞いはほぼ一年前にハーフ・ピクトリー(半分の勝利)を勝ち取っていたのである。横須賀のNEPA訴訟の計画の話をする、彼はおいに喜び、「いい考えだ。いい考えだ」と繰り返していた。工事現場を見た。住宅や道路のある台地より一段低い海岸の砂地で工事が進んでいた。見下ろした正面のバラックにろうじて「海軍工事事務所」ピュージェット湾海軍基地」という文字が読み取れた。現場に立つて初めて、この基地建設の環境問題が理解できた。空母の接岸海域に予定されている東水路の左手には大きなバルブ工場が煙を吐いていた。海面には木材が浮かんでいて、東水路の浚渫工事が必要であったが、その海域には永年にわたる工場廃水や廃棄物の沈殿物が溜まっていた。分析結果では、海底土には高水準の水銀、カドミウム、鉛などの重金属や芳香族炭化水素が含まれていた。海軍は、浚渫土を湾内の他の場所に捨てる計画であったが、それが環境保護基準を満たすか否かがNEPA訴訟の争点であった。このような争いにおける汚染

濃度基準を知っておくことが、日本での同様な争いを想定した場合、重要だと思つて質問をしたが、実は状況が全く違うことを知らされた。マーク・ハウザー氏によれば、「濃度は問題ではない。それらが含まれているというだけで十分なのだ」ということであつた。

激しい攻防の過程で、海軍は一九八七年一月に一部の工事を開始したが、NEPAと水質浄化法(クリーン・ウォーター・アクト(CWA))による差し止め訴訟が繰り返され、九カ月に三度工事が中止されるといふハメになつた。一九八八年八月の連邦地方裁判所の判決では、浚渫のみならず関連陸上工事も海軍は中止しなければならなかつた。反対派の全面勝訴であつた。

マーク・ハウザー氏の説明によれば、「攻防は続いているが、海軍は規模を縮小してEIS(環境評価書)を出さざるを得ないであろう。しかも最近の予算計画(一九八九年九月)を分析すると、空母は来ないであろう。船の数も五、六隻に縮小されるに違いない。」とのことである。

完全勝利ではないが、偉大な前進である。彼は「議会でこれ以上予算がつかないようにする余地が、まだ残っている。金を断つのが一番だ」と、最近の軍縮気運を活用して全面勝利への運動を強めることに意欲を燃やして

いた。

ワイドビー島の タッチ・アンド・ゴー

タッチ・アンド・ゴーと言うのは、空母の艦載機が行なう飛行甲板や地上滑走路での着艦訓練のことである。滑走路に降下、接触してはすぐに飛び立つ。

ほんの束の間の会見であつたが、ワイドビー島での出合いは極めて貴重な出合いであつた。ワイドビー島からの帰りのフェリーの甲板で、潮風に吹かれながら私はまだ興奮していた。ピュージェット湾に浮かぶこの細長い辺鄙な島に、基地の騒音が無ければ決して訪れることが無かつたであろう。そこで騒音問題に反対しているグループWISE(ワイドビー・アイルランダーズ・フォア・サウンド・インバイロメント)の代表であるジェームス・バーンス氏と交わした握手の固さが私の手に残っている。

私が携えていった神奈川県が発行した厚木基地のNLPの現状を書いた英文つきのパンフレットを見て、彼もまた興奮をしていた。彼は、パンフレットはそのまま彼らの運動の役に立つと語つた。

ワイドビー島にはワイドビー島海軍航空基地がある。第二次世界大戦中に建設され日本

うである。

③次に最終EISが作成される。この段階で不服があれば裁判が始まることになる。

④裁判の過程にも、政策は実行される可能性はあるが、差し止め訴訟などさまざまな攻防が展開される。

ワイドビー島の場合、もう二〇年以上もクープビル滑走路の演習は続いていた。しかし、その演習頻度は近年急速に増加した。以前の十年間の平均年間演習回数は約一万回であつたが、一九八六年には倍の年間二万回、さら

に一九八七年には年間三万回に増加した。

このような場合、明確な新規事業が始まる場合と違って海軍がEISの作成を義務付けられるか否かは必ずしも明確ではなかつた。WISEの運動は、初めてそれに挑戦したのである。

弁護士を立てて、被害が住民の忍耐の限度を越えていることを訴える手紙を書き、海軍はNEPAに基づくEISを作成する必要があることを主張した。同時に政治的な働きかけも精力的に行なつた。

その結果、海軍は歴史上初めて既存の基地

攻略のために激しく使用されたという。北部のオークハーバーに基地の中心があるが、そこは保守的な風土があり基地反対運動は弱い。オークハーバーの正門には看板が立つており「騒音を許してください。自由のための騒音です」と書いてある。

反対運動が始まっているのは、南部にあるクープビル滑走路(OLF)である。今後日本の運動とも深い関わりが出てくる可能性がある。そのためNEPAの手続きについて簡単に説明をする。

* * *

NEPAによれば、連邦政府や官庁(以下、当局と呼ぶ)がなんらかの環境への影響が予想される政策を実行するとき、環境評価書(EIS)を作成しなければならない。

①EIS作成のために、当局は先ずスコーピングのための公聴会を開かなければならない。ここでは、問題の範囲を見定める(スコープ)ために、すべての人々から洗ひざらい問題を出してもらふのである。書面による意見表明もよい。

②次に、当局はそれを参考にしながら、(あるいは無視しながら)、EIS草案を作成する。草案は公表され再び公聴会が開かれる。公聴会の回数は、ケース・バイ・ケースのよ

についてのEISを作成することになった。

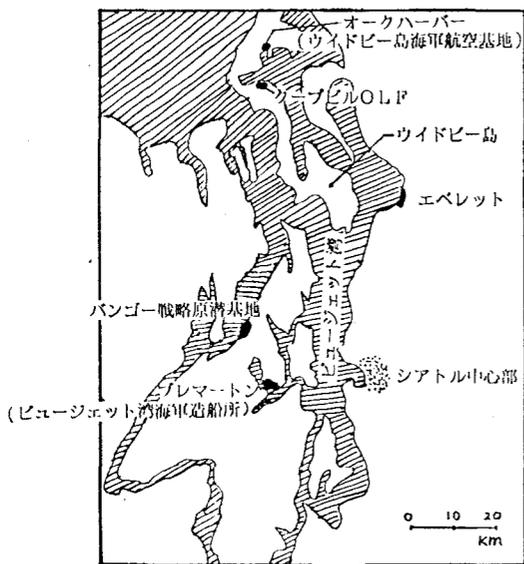
そして、一九八九年二月に、スコーピング公聴会が開催された。WISEはこの場に騒音データ等を添え多くの報告を持ち込んだ。もちろん強い訴えが行なわれた。

しかし、WISEの人たちが不安を抱いているように、海軍が作ろうとしているものが演習増加分のEISなのか基地そのもののEISなのか明らかではない。バーンス氏によると、今春にもEIS草案が出る可能性があるとのことであつた。

◆つづく

(10ページから)
に新しい代表を投票で選ぶことが合意されました。

一方では独立運動にとつて有利な状況も生まれつつあります。というのは、今フランスは東ヨーロッパの動きに関心を集中しているからで、自らの植民地への関心が弱まっているからです。フランスはポーランドやハンガリー、東ドイツなどに経済援助をしなければならないうたためニューカレドニアに対する経済援助の公約を果たすことが出来ないのではないかと思われまふ。これから二、三年、カナキーの人々からは、「マティニオン合意」の一九八八年まで独立を待つことなどできないという圧力が高まるに違いありません。◆つづく



新刊パンフレット

生命の海へ

非核・独立の太平洋ベーシック

ニック・マクレラン
ロベティ・セニウリ
オーエン・ウィルクス
話題の国々
バマツ/フィジー/
東チモール/ペラウ/
ニュージーランド/
カナキー/タヒチ
ファクト・シート
南洋庁/日本占領/基地/
核実験/海洋投棄/
ODA/益川財団/
遠洋漁業/NFIP/PCDS
資料
非核憲法/非核法/
非核地帯条約/
非核独立太平洋憲章/
倉成ドクトリン
伝説
地図・統計



読んで・見て・知る 太平洋

編集●「生命の海へ」
編集委員会
発行●トマホークの配備
を許すな! 全国運動
定価●600円
(10部以上500円)



2000字までを目途に
投稿歓迎 しめ切りは毎月10日。

【編集後記】 ワッなんだこのスペース
は! 何もかけない。(た)

* 編集
トマ喰い虫編集委員会
郵便振替 東京六一三六一四八
FAX 〇四四(六三)九九〇七
* 定価 一〇〇円(通信会員年間二〇〇円)

月刊トマ喰い虫 第五十二号
月刊反トマホーク通信改題 改題第二号
一九九〇年 一月 二十日発行(通巻五十四号)
* 発行
トマホークの配備を許すな! 全国運動
〒一五〇 東京都渋谷区渋谷二一五一九
バル青山五〇二 トマ喰い虫社
〇三(四九八)六〇九五
〇四四(六三)五一〇一

を やって み よ う と い う 人 は い ま ん か ?

編集 平和運動や太平洋各地の動きなど、
ホットな情報に触れてみたい人、連絡下さい。

イラスト やレイアウトに興味のある
人大歓迎。あなたのセンス
で「トマ喰い虫」をもっと素敵にドレス・ア
ップして下さい。

発送 も大事な仕事です。毎月20日直後の
日曜日トマ喰い虫社分室(東横線日
吉駅から歩いて七分)に集まって、ワイワイ
とやっています。のぞいて見て下さい。次回
は、

4月30日(月!) ◆振替え休日
◆午後2時から
4月だけ特別です。ご注意を!

「トマ喰い虫」をいっしょに
作りましょう!

会計報告

(90.2.20~3.20)

【収入】

○前月からの繰越	71,620
経常繰越	321,620
借入金繰越	△250,000
○今月の収入	146,970
会費収入	50,000
内	
維持団体	0
維持個人	6,000
参加団体	22,000
参加個人	3,000
通信会員	19,000
カンパ収入	27,250
行動収入	36,220
資料収入	3,500
反核ホットライン収入	0
アンケート調査収入	30,000

【支出】

●今月の支出	183,789
家賃(3月分)	50,000
水道光熱費	13,033
電話代	5,840
郵送料	37,146
文具代	0
印刷費	3,030
行動費	32,360
資料経費	0
反核ホットライン経費	0
アンケート調査経費	40,000
郵便振替等手数料	2,380
●次月への繰越	34,801
経常繰越	284,801
借入金繰越	△250,000